



現在

= 65 =

富士大橋

昭和36年1月15日



開通当時から富士大橋
を見つめ続ける
松井 けいさん
(富士町)

平成21年11月5日号 (毎月5日・
20日発行)

こちら編集室

今回特集した町内会。小さいころから当たり前にあって、町内の人に同士は助け合うものだと思い、育ってきました。今は地元を離れ、アパート生活をしています。1歳の娘を連れて実家へあれから50年。現在、耐震や舗装工事をしていますが、これからも私たちの生活を守る丈夫な橋であつてほしいですね。

また、自動車の通行量が一気にふえ、騒音や振動に困ったこともありました。今までこの地でともに生活してきました。あれから50年。現在、耐震や舗装工事をしていますが、これからも私たちの生活を守る丈夫な橋であつてほしいですね。

私は、昭和24年に現在の富士大橋のすぐ東側に嫁いできました。橋ができる前は、東海道本線の線路を渡るために、イートヨーカドー東側の踏切（現在は地下道）まで、迂回しなければならなかつたんです。当時、米は配給制で、私は子どもを連れながら、わざわざ迂回をしてその踏切を渡り、駅南にあつた米屋に行きました。

昭和30年代に入り、市から、自動車が通る大きな橋をつくるという話を聞き、びっくりしたのを覚えていました。富士大橋の建設のとき、私の家は現在の橋の下にあつたので、家を東側に移動し、おじいさんが「市の発展のためなら」と敷地の一部を快く提供しました。

橋が開通すると、晴れた日は橋の上から富士山がよく見えたため、写真を撮りにたくさん的人が訪れていましたよ。

ウェブサイト <http://fujishi.jp> モバイルサイト <http://fujishi.jp/mobile>

人 口 261,653人 (前月比+72)
男 129,533人 (-7)
女 132,120人 (+79)
世 帯 96,548世帯 (+60) 10月1日現在
編集・発行 富士市総務部広報広聴課
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100
☎0545-51-0123(代) ☎0545-51-1456

おしゃべりふじ
53-1111
受付時間
8:30~19:00